

# 地域安全学会

## 2013 年度第 3 回理事会 議事次第

日 時：2013 年 7 月 20 日（土） 15：00～18：00

場 所：同志社大学東京オフィス（千代田区大手町 2 丁目 6 番 2 号 日本ビルヂング 5 階）

出席者：宮野道雄、池田浩敬、牧紀男、大西一嘉、市古太郎、柄谷友香、庄司学、松岡昌志、村尾修、田中聡

委任状：立木茂雄、糸井川栄一、大原美保、岡田成幸、越村俊一、重川希志依、能島暢呂、目黒公郎

欠 席：

事務局：竹本加良子、藤木理絵

配布資料：25-3-1 2013 年度第 3 回理事会議事次第（宮野）  
 25-3-2 2013 年度第 2 回理事会議事録案（糸井川）  
 25-3-3 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡 登録一覧（宮野）  
 25-3-4 ニュースレターNo.84（2013 年 8 月発行）の「内容と担当者」（柄谷）  
 25-3-5 地域安全学会論文の J-STAGE への登載に向けた進捗（松岡）  
 25-3-6 地域安全学会論文集 No.21 および No.22 について（田中）  
 25-3-7  
 25-3-8  
 25-3-9

議題：

1. 前回議事録の確認（宮野：資料 25-3-1）

前回議事録は異議なく承認された。

前回議事録（2013 年度第 2 回理事会）から、出席代表理事・監事の確認の捺印をいただくことを決議した。

2. 会勢・会員管理関係（藤木：資料 25-3-9）

・会員数及び入金状況の報告

2013/7/20 の時点での会員の数や入金状況の報告があった。（全会員数の 6 割が入金済み、4 割が未入金）

<会員数> 2013/7/20

2013.7.20 時点	正会員	学生会員	合計
会員数	554 名	82 名	636 名
入金状況	349 名	32 名	381 名

2013/10、2014/3 の 2 回、未入金者に対して督促をかける。

2013/6/30 の時点での損益計算書を用いて、収支の報告があった。

・収支報告

現時点の損益計算書では、勘定項目等の設定が完了していないため、会計士と打合せをし、次回理事会までには、正式な損益計算を提出する。

また昨年度決算において、合算されている勘定科目を明確にするため、去年の担当理事に事務

局より連絡がある。

### 3. 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡（宮野）

9/21、22の2日間、大船渡にて開催予定である。

今年度の論文募集には、33件の応募があり、31件を採択した。

### 4. 2013年度総会報告（宮野）

5月17日に実施した2013年度総会について、宮野会長から報告があった。

2013.10.1現在で正会員数-632名（正会員）の1/10以上の出席（出席者-33名、委任状提出者-231名の合計-264名）を得て、総会が成立した。

次回のニューズレターで、詳細を報告予定。

### 5. 2013年度春季大会報告（市古） 12:50

学術大会は、昨年度より2割増しの活発な発表があった。

オーガナイズトセッションが好評だった。今年度はオフィシャルな期間が3日間期間があり好評であった。

### 6. 学術委員会関係（田中）

#### ・秋季研究発表会・論文No.21

全論文投稿数58編うち、審査対象57編

判定1-1編・判定2-16編・判定3-25編・判定4-15編で、1次審査通過率74%だが、投稿数が少なく判定3が多い。

秋の研究発表会は、11/15～の2日間で、次回の学術委員会（9/7）で搭載可否の判定をする。

#### ・電子ジャーナル論文集No.22の募集を開始

投稿期限-8/2～8/30、一次審査-11/15、2次審査-2014.1月

#### ・電子システム改修

投稿時エラー発生において、多くの原因は英文アブストラクトの一部が送信時に全角になる為と判明。査読振り分けにおいて、英文は特に使っていないので削除することで承認された。電子システム改修の際、費用は今年度予算外で1件/16,800円の見積であると報告があった。

#### ・電子ジャーナルNo.22

運用開始にあたり、2つ目の契約をすることを決定した。（約30万/年度予算内）

#### ・電子ジャーナル論文集No.23について

投稿期限-11/19～1/6に決定した。

### 7. 2013年度秋季研究発表会（池田：資料25-3-7）

表彰委員会からの依頼により、論文投稿時の登録エントリー項目追加することとなった。（資料3ページの2-(1) - II-1. -(3)への追加）

今回の研究発表会（秋季）一般論文から、投稿料が4ページまでを10,000円に改定とすることを決定した。

研究発表会（春季）一般論文の投稿料は、次年度から適用することに決定した。

論文集・電子ジャーナル等のページの付け方は、今後PDFの段階からNo.ごと、vol.ごとにページ数をつける事を決定した。

### 8. 2014年度春季研究発表会（市古）

2014年度の春季研究発表会の開催候補地として、①1964年新潟地震（50周年）、②1984長野県西部地震、③1934年高知室戸台風、④大阪の4候補地となった。

## 9. 広報委員会関係（柄谷：資料 25-3-4、25-3-7）

ニューズレター№84 について、前回の理事会で提出した資料に項目を 2 点追加した。新たに国際交流委員会からの依頼により、フィールドトリップについての記事を追加することとなった。（追加項目：フィールドトリップ）原稿の締切は 8/9(金)とする。

## 10. 地域安全学会論文の J-STAGE への登載に向けた進捗（松岡：資料 25-3-5）

地域安全学会論文が、J-STAGE への登載優先誌として選定された。

今後、オンライン ISSN の取得、テンプレートの作成を行い、10/10 に地域安全学会論文 No.20（電子ジャーナル）を公開できるよう勧めている。

バックナンバーについても、その後に作業を進め、搭載する予定である。

## 11. その他

### 1) 学会HPのデモおよび説明会（庄司）

ホームページの委託業者から、新しい学会 HP の説明があった。  
理事会ページ（パスワードにより管理可能）の追加を依頼した。

### 2) 企画研究小委員会（柄谷/大原依頼分：資料 25-3-8）

企画研究小委員会については、応募のあった「被災地生活支援のための循環型非常食の考案と実例紹介に関する小委員会」「世界の復興計画比較研究小委員会」の新規設置を承認し、全部で 3 つの小委員会が設置されることとなった。

### 3) 国際交流委員会

2014/10/2～4 の日程で、コロラド大学ボルダー校にて ICUDR3 を開催される予定である。この回から、ニュージーランドも参加となる。

2013/10/21～25 日に、台湾でのワークショップとフィールドトリップが（企画会議を兼ねて）開催される。若手 2～3 人の研究者に限り、CGP 及び NCDR の助成により旅費支給される。

また、2014 年 10 月下旬～11 月初旬に、台湾にて ACUDR を開催予定である。

地域安全学会としては、2013/10/21～25 日に開催される台湾でのワークショップ等への参加について、HP やニューズレター等を通じて会員に対して呼びかけることとする。

アブストラクト(英語)審査と若手研究者の選定については、地域安全学会からは立木副会長、牧理事、田村会員が担当することで承認された。

次回理事会 9/7(土)理事会 同志社大学東京オフィスで開催する。

出席代表理事 池田浩敬

監事 井野